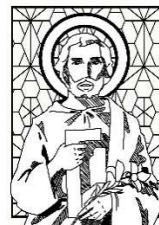




ともに歩む

3号 2025年9月1日 カトリック土崎教会
発行者：篠崎 エジルソン c.tsuchizaki@gmail.com



労働者聖ヨセフ
土崎教会の保護聖人

～神様と、共同体と、日々の暮らしの中で～

【敬老の日と信仰の継承】

9月は「敬老の日」を迎える季節です。私たちの共同体にとって、この日は単なる祝日ではなく、信仰の歩みを伝えてくださった先輩方に感謝を捧げる大切な機会でもあります。

家庭や教会で祈りを教えてくれた祖父母、聖堂で静かにロザリオを唱えてきた年配の信徒の姿、その一つひとつが次の世代にとって信仰を学ぶ「教科書」です。

聖書の中でも、申命記6章6-7節には次のように記されています。

「今日、わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、子どもたちによく教え込みなさい。家に座しているときも、道を歩くときも、寝ているときも、起きているときも、これを語りなさい。」 この



箇所は、イスラエルの民にとって信仰が単なる知識ではなく、日常生活のすべてに根差して生きていくべきものであることを示しています。そして、それを次の世代に伝えていくことが、共同体全体の務めであることを強調しています。

今日の社会では、急速な変化の中で若い人々が立ち止まり、迷うことも少なくありません。そのとき、人生の歩みを信仰と共に生き抜いてきた年長者の言葉と姿は、大きな力となります。年長者は「信仰の証人」として、若い人々に希望の道を示してください。これはまさに、宣教活動でもあります。

敬老の日を迎える今、私たちは祈りを込めて年長者に感謝し、その信仰を

大切に受け継ぎ、また次の世代に伝えていく使命を新たにしたいと思います。

年長の方々への祈り

いつくしみ深い父である神よ、

長い年月をあなたと共に歩んでこられた年長の兄弟姉妹を祝福してください。

彼らの祈りと証しによって、私たちは信仰を受け継ぎ、励ましをいただきました。

どうかその人生に平安と健康をお与えください。

これからの日々も、あなたの愛のうちに喜びと希望をもって過ごすことができますように。

また、彼らの信仰の証しが次の世代を導き、私たちすべてが「ともに歩む」共同体として成長できますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

【神言修道会創立 150 周年】

今年、神言修道会は創立 150 周年を迎えました。1875 年、ドイツで聖アーノルド・ヤンセンによって始められた小さな共同体は、今日、世界 70 か国以上に広がり、さまざまな文化や言語の中で福音を伝え続けています。

「神の言葉をあらゆる人々に届けたい」というヤンセン神父の夢は、多くの修道者や信徒の協力によって具体的な形となり、教育、福祉、宣教活動へと実を結んできました。

特に日本では、宣教師たちが学校や小教区の司牧に携わり、多くの人々と共に歩んできました。そしてここ秋田においても、来日した最初の神言会会員のときから、信徒の皆様と共に歩む歴史が始まりました。その歩みを支えてくださった秋田の皆様に、後輩として心から感謝申し上げます。

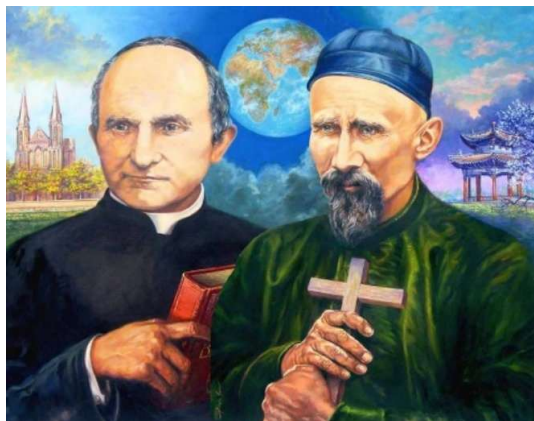
150 年の歩みを振り返るとき、私たちは過去の成果をたたえるだけでなく、これからの使命をも問いかけられています。人々の心に福音の喜びを伝えること、異なる文化や宗教と対話しながら平和を築くこと、そして困難の中にある人々に寄り添うこと。これらは創立当初から変わらぬ修道会の精神です。

この記念の年に、私たちも「神の言葉をあかしする者」として、ともに使命を担っていきたいと思います。

※9 月 8 日は神言会の創立記念日です。この日にあたり、皆様のお祈りをお願い申し上げます。どうか、神様が神言会に豊かな恵みを注いでくださり、これ

からもその使命を果たしていくことができますように。

「聖アーノルドと聖フライナーデメッツ、わたしたちのためにお祈りください！」



【ロザリオの月を迎えるにあたって】

10月は「ロザリオの月」と呼ばれています。これは、聖母マリアへの信心とロザリオの祈りをとくに大切にするよう、教会が私たちに呼びかけている季節です。

ロザリオは単なる繰り返しの祈りではありません。珠を指でたどりながら、「アヴェ・マリア」を唱えつつ、イエス・キリストの生涯の神秘をマリアと共に黙想していく祈りです。喜びの神秘、苦しみの神秘、栄えの神秘、光の神秘を通して、私たちは救いの歴史をなぞり、イエスの歩みを自分の生活の中に映し出すことができます。

聖ヨハネ・パウロ二世は使徒的書簡『ロザリオの聖母マリア』の中で、ロ

ザリオを「福音の要約」と呼びました。それは、ロザリオを祈ることが、御言葉を深め、キリストを見つめ、マリアの眼差しを通して信仰を新たにする道だからです。

私たちはミサの中でもマリアを記念し、救いの歴史の中で神に「はい」と応えたその信仰を模範としています。ロザリオを共に唱えるとき、私たちはマリアに倣い、神への信頼を新たにし、家庭や共同体の平和のために祈ることができます。

来月の「ロザリオの月」を前に、今一度この祈りを手に取り、日常生活の中で実践してみませんか。小さな時間でも珠を繰りながら祈ることによって、心は静まり、神の平和が私たちのうちに広がります。

秋の実りを迎えるこの季節、マリアと共に主イエスを仰ぎ見ながら、ロザリオの祈りを通して信仰の実を豊かに育てていきたいと思います。

【ロザリオを祈るときに】

皆さん、ご存じでしたか？ ロザリオを祈るときには、自分の「祈りの意向」を添えることができます。家庭の平和、病者の癒し、世界の平和、亡くなった方々の永遠の安息など、心にあ

る願いを神にゆだねながら祈るとき、
ロザリオはより深く、より力強く、具
体的な祈りとなります。

意向の例

- ・家庭の平和と愛の一致のため
- ・病気や苦しみの中にある人々の癒し
と慰めのため
- ・青少年が信仰と希望をもって歩める
ように
- ・教会共同体の一致と成長のため
- ・世界の平和と戦争・暴力の終結のた
め
- ・亡くなった方々が神の永遠の光のう
ちに憩うため
- ・受験や就職を控えた若者の導きのた
め
- ・老年期を迎えた方々の健康と心の平
安のため
- ・家庭内の不和や断絶の癒しのため
- ・社会における正義と真理が守られる
ため
- ・迫害や災害の中で苦しむ人々の保護
のため
- ・宣教師とその活動に携わる人々のた
め



【とんがり屋根の十字架】

このたび、とんがり屋根に新たに十
字架を設置することとなりました。以
前と同じ形の十字架を取り付ける工事
が、間もなく始まります。

教会の十字架は、単なる建物の飾り
ではなく、そこが「キリストの共同体」
であることを示す大切なしるしです。十
字架は、イエス・キリストが私たちのた
めにいのちをささげられた愛のしるし
であり、同時に復活の希望を示す光で
もあります。遠くからでも屋根の上の十
字架を見るとき、そこに教会があり、祈
りがささげられ、神の愛が告げられて
いることを思い起こし、人々に希望を
与えることができます。

新しい十字架が掲げられることを通
して、私たちの共同体がキリストの愛
と希望をあかしする場となり、多くの
人に平和と慰めをもたらすことができ
ますように！

